

栃木県の方言を調べる

《地-15》

<本文中の記号について>
【 】：請求記号
< >：資料のある場所
(館内)：館内閲覧扱い

栃木県の方言の調べ方をご紹介します。

目次

1. 調べるためのキーワード
2. 図書を探す
3. 栃木県の方言に関する資料
4. 全国の方言に関する資料
5. インターネットで調べる
6. 専門機関

1. 調べるためのキーワード

図書館の所蔵検索や各種データベースを検索する際に利用するキーワードの例です。

《キーワード》 方言 ○○(地域名)弁 訛り 訛語(カゴ) 「地域名」+言葉 お国ことば など

2. 図書を探す

○書架を探す

栃木県の方言に関する資料は、3階地域資料室(地公)にあります。なお、栃木県立図書館の地域資料(栃木県に関する資料)は「栃木県立図書館郷土資料分類表」で分類された数字の順に並んでいます。

《関連分野の分類記号》※背ラベルの1段目の数字です。

●地域資料

T800	言語学
T810	郷土方言

●地域資料室にあるその他の分類について

民話・伝承、文学に分類される資料の中には、方言を使用して書かれた物語が収録されていることがあります。民話・伝承は「T380」、文学は「T900」にあります。

○栃木県立図書館の蔵書検索システムから探す

当館ウェブサイト内で公開している「詳細蔵書検索」画面から、分類記号を用いた検索ができます。

「詳細蔵書検索画面」までのアクセス

当館トップページ→県立図書館の本かんたん検索→詳細蔵書検索

単独検索

ISBN/ISSN/資料コード ISBN

別置記号/請求記号1/
請求記号2/請求記号3 /

ここに分類記号(例:T810)を入力し、検索する

また、県内の方言については、以下の方々が多くの著作を発表しています。著者名検索をご利用ください。

- ・森下喜一(もりしたきいち)ー方言学者
- ・嶋均三(しまきんぞう)ー方言作家

※著者名で検索をする際には、氏名の間にスペースを入れず、フルネームで検索してください。

3. 栃木県の方言に関する資料

○主な方言辞典

・『栃木県方言辞典 改訂増補』

(森下喜一／著 随想舎 2010)【T810/37/010C】<地公>

筆者が県内各地で聞き集めた方言語彙をまとめた辞典。各語彙の意味、使用地域、年齢層等を調べることができる。栃木県の方言の歴史・区画・特徴の解説や、標準語から方言を引ける「標準語索引」も収録。

・『栃木県方言語源辞典』

(森下喜一／著 落合書店 2002)【T810/51/B】<地公> (館内)

意味・用例・使用地域だけでなく、語源・学説(自説含む)を用いて方言語彙を解説した辞典。巻末に共通語から対応する方言を引くことができる索引あり。

○県全体に関する資料

・『日本のことばシリーズ 9 栃木県のことば』

(平山輝男／〔ほか〕編 明治書院 2004)【T810/53/C】<地公>

方言の歴史や特色を都道府県別にまとめたシリーズ。県全体の方言を解説しているほか、方言語彙の意味を50音順の辞書形式でまとめている。また、昔話・伝説や和讃、祝言のあいさつの中で使われる方言も掲載。

・『栃木方言の源を求めて』

(森下喜一／著 随想舎 2006)【T810/55/C】<地公>

県内の方言の語源について、文献や各地の高齢者から聞き集めた説を整理し、まとめた資料。『栃木県方言語源辞典』(前掲)に比べると収録されている語彙数は少ないが、それぞれに詳しい解説が付されている。

・『ひごちゃっぺ「地方語」のめぐもり』

(嶋均三／著 下野新聞社 1999)【T810/45/C】<地公>

方言で書かれた物語23編を収録。巻末には50音順の「方言集」がある。

・『下野方言覚書』

(黒尾正臣／著 下野新聞社 1988)【T810/40/C】<地公>

著者が幼いころから聞いてきた方言の語彙について、その来歴やルーツを探った資料。

3. 栃木県の方言に関する資料(続き)

○地域ごとの方言に関する資料

・『喜連川町の方言』

(手塚邦一郎／編、発行 1989)【T810/42/C】〈地公〉

旧喜連川町(現・さくら市喜連川)の地域で使用されていた方言を、辞書体に50音順でまとめた資料。語彙の語釈・使用例・共通語訳を調べることができる。巻末に索引あり。

・『栃木県南西地方のことば』

(森下喜一／著 桜楓社 1979)【T810/29/C】〈地公〉

現在の足利市・佐野市にあたる地域の方言を、地理学的に調査・研究した結果をまとめた資料。

・『鹿沼の方言となまりことば』(安野清治／編 鹿沼市立図書館 1996)【T810/44/】〈地庫〉(館内)

『鹿沼市旧町村郷土誌集成』上下巻(鹿沼市誌料刊行会／編、発行 1989)に収録された各地域の方言・訛言を抜き出して編集した資料。各語彙について「標準語」「方言」「訛言」が一覧できる。

・『宇都宮の方言となまり』

(宇都宮市立図書館／編、発行 1986)【T810/38/C】〈地公〉

郷土誌や既出版の方言資料等から宇都宮市に関わる方言を収集し、50音順の辞書体にまとめた資料。「索引」は標準語から方言を引くことができる。全国の代表的な方言を都道府県別にまとめた「付録」も収録。

地域ごとの方言に関する情報は、各市町村史誌の「民俗編」等にも収録されていることがあります。

4. 全国の方言に関する資料

日本全国の方言を体系的にまとめた資料の中にも、栃木県の方言に関する記述が含まれています。主な参考文献をご紹介します。

・『全国方言辞典』全2巻

(平山輝男／編 角川書店 1983)【818/74/1】〈公4〉(館内)

日本全国59地域を調査した資料を基に編集した辞典。1巻では「県別方言の特色」を47都道府県別に解説し、2巻では「県別人体語彙の体系」を調査地点ごとまとめている。栃木県の調査地点は「宇都宮市」。

・『講座方言学』全10巻

(飯豊毅一／〔ほか〕編 国書刊行会)【818/72/】〈書庫〉

各地の方言の実態等について、出版当時の最新成果に基づいて記述した論考を集めた資料。栃木県に関する記述は第5巻「関東地方の方言」に収録。

・『日本列島方言叢書』全34巻

(井上史雄／〔ほか〕編 ゆまに書房)【818.08/1/】〈書庫〉

近代から現代までに書かれた方言研究の論文を集めて復刻した叢書。栃木県に関する論文は第5巻「関東方言考①(関東一般・茨城県・栃木県)」に収録。

・『日本のふるさとことば集成』全20巻

(国立国語研究所／編 国書刊行会)【818.08/3/】〈書庫〉

文化庁が昭和後期に実施した「各地方言収集緊急調査」で収集された録音および文字化資料を、CDと冊子で出版したもの。栃木県内では日光市小来川地区が調査対象となっており、第4巻「茨城・栃木」に収録。

5. インターネットで調べる

○語彙を調べる

・全国方言辞典 (goo辞書)

< <https://dictionary.goo.ne.jp/dialect/> >

『全国方言辞典』(三省堂)に掲載されている内容を、50音もしくは都道府県・地域名から調べることができます。(※書籍版の内容の一部は除く。)

○図書館での相談事例を確認する

・レファレンス協同データベース(国立国会図書館)

< <http://crd.ndl.go.jp/reference/> >

国立国会図書館と全国の図書館等が協同で構築している調べ物のためのデータベース。過去に図書館に寄せられた事例の検索・閲覧が可能であり、情報収集に役立つ。当館が調査・回答した方言関連の相談事例も確認できる。

○方言に関する論文を調べる

・CiNii Articles (国立情報学研究所)

< <https://ci.nii.ac.jp/> >

日本国内の雑誌や大学紀要等に掲載された学術論文の情報を検索できるデータベース。他機関のデータベースや機関リポジトリとも連携しており、連携先で公開している論文にも簡単にアクセスすることが可能。

6. 専門機関

さらに詳しい情報を得たい時、各分野の専門機関に直接問い合わせる方法があります。

・国立国語研究所

< <https://www.ninjal.ac.jp/> >

東京都立川市緑町10-2

TEL:042-540-4300 FAX: 042-540-4333

国語に関する総合的な研究機関。方言についても全国的な調査を行い、その結果を公表している。研究活動の成果や所蔵する学術資料は、以下の機関リポジトリでも公開している。

・国立国語研究所学術情報リポジトリ

< <https://repository.ninjal.ac.jp/> >



栃木県立図書館では、さまざまなテーマや課題に関する資料・情報の調べ方、入手方法に関する相談に応じています。お気軽にご相談ください。

メール・FAX・電話でもお受けします。

お問い合わせは下記までどうぞ。

栃木県立図書館 調査相談課

レファレンスサービス担当

火-金 9:00-19:00 土日祝 9:00-17:00

〒320-0027 栃木県宇都宮市埜田1-3-23

URL : <http://www.lib.pref.tochigi.lg.jp/>

TEL : 028-622-5112 FAX : 028-624-7855

E-Mail : chousaka@lib.pref.tochigi.lg.jp